

Hekikai Report

地域金融機関として
伝えるビジネスの
“今”と“これから”

〈企画・編集〉
碧海信用金庫
経営企画部 企画グループ
<https://www.hekishin.jp/>



＜東海道五拾三次(保永堂版)池鯉鮒 首夏馬市＞

- 企業訪問 地域の躍動企業
壽化工機株式会社
代表取締役社長 佐藤 淳平 氏
- 特集 ロマンあふれる知立の歴史を発見!
- お役立ちコラム 知っておきたい税情報
電子帳簿保存法の改正
(電子取引データの電子保存への対応)

- Pickup! チャレンジ企業
梅花堂紙業株式会社
- SDGsレポート vol.14 (2023年4月～6月)
- 地域の景気動向 2023年6月調査

企業訪問

地域の躍動企業

壽化工機株式会社
壽工業株式会社
環境化学研究所

SPECIAL INTERVIEW

名古屋支店お取引先

壽化工機株式会社

代表取締役社長

佐藤 淳平 氏

水処理装置・プラントの設計、開発、製造、施工など、水を通じて豊かで快適な環境づくりに貢献し続ける壽化工機株式会社。70有余年の永きにわたって水処理ひとすじに研究・開発を続け、次代を担う製品づくりを行っています。柔軟な対応力と確かな技術力を武器に、地域社会と環境への貢献に注力する佐藤社長にお話を伺いました。

高い技術と対応力が強みの 総合水処理プラントメーカー

—創業からの歩みや特筆すべき出来事、また主な事業内容について教えてください。

前身の「壽工業株式会社」にて水処理装置の開発事業を展開するなかで、水処理部門を独立させ「壽商事株式会社」を設立したのが昭和42年のこと。昭和48年には「壽化工機株式会社」に名称を変更し、総合水処理プラントメーカーとしてさまざまな水処理関連装置の開発・製造・施工などに取り組み、今日に至ります。

大きな転機となったことのひとつは、40年ほど前に、学校教育プログラムに取り込まれた「実験用排水処理装置」を手掛けたこと。全国の高校・大学が対象ということで一大プロジェクトとして大量納入となり、大きく売上を伸ばす事業となりました。また海外でのプラント設計・施工、そして大手水処理エンジニアリングメーカー様との協業も挙げられます。弊社では設計・開発だけでなく自社工場も持っておりますので、大手メーカー様の下請としての受注もあります。さらに近年では、大手機械・自動車部品メーカー様の新工場にて水処理関係の設備全般に関わらせていただくなど、自社だけでは会得できない技術・知識も習得できており、中小企業ならではの小回りの利く柔軟な対応力と合わせて、どのような水処理にも対応可能であると自負しています。

—「用水処理」「排水処理」「特殊処理」といったさまざまな水処理に対応する装置・プラントを開発・製造されています。

「用水処理」は、飲料水をはじめ工場での製造に使用する工場用水、半導体に代表される先端技術産業に不可欠な「超純水」など、河川や井戸の水を用途に合わせて処理・供給するものです。通常の水にはミネラルやカルシウムなどさまざまなものが含まれていますが、そうしたものを取り除いた純粋な「H₂O」が「超純水」。非常に純度の高い超純水は、先端技術産業に欠かせないもののひとつです。純水・超純水製造装置、井水ろ過装置、工業用ろ過装置、サンドセパレーター、プール・浴場循環ろ過装置などを設計・開発・製造しております。

「排水処理」では、工場での製造に用いられた産業排水や、病院排水・実験室や研究所からの排水など、多種多様な排水の分析・調査を行い、水に混ざったさまざまな不純物を、指定の河川などの定められた基準値以下に浄化するための装置を設計・施工しています。凝集沈殿処理設備、加圧浮上設備、廃液濃縮装置、汚泥脱水処理装置、排水再利用装置などが挙げられます。排水を再利用できるレベルにまで高度に処理し、限りある重要な水資源の有効利用に努めています。

それから「特殊処理」というのは、分解が困難な有機物を専門に処理する装置や、省スペース・高効率を追求したプラントなど、特化した性能を有している装置による処理を指します。非常用飲料水製造装置、紫外線促進酸化装置、フロックスセパレーター、紫外線殺菌装置、雨水再利用装置などを取り扱っています。



▲超純水製造装置



▲井水ろ過装置



▲排水処理装置



▲フロックスセパレーター

水処理のパイオニアとして 暮らしに、地域に、環境に

貢献し続けていきたい

一実に多種多様な装置・プラントがありますが、寄せられるニーズもそれだけ多種多様で専門的ということなのですね。

工場で製造する物や用途によって、用水も排水もさまざま。各種条件や既設設備の運転状況を把握し、お客様に寄り添った営業・オーダーメイドのプランニングで、よりよい提案をすることが求められます。自社で多種多様な装置・プラントを開発・製造できることで、ニーズに即応でき、タイムラグのないきめ細かな対応が可能となり、お客様に好評をいただいております。用水処理装置のみを扱う会社様、ろ過装置を専門に製造しているメーカー様などもあるなかで、弊社では小回りの利く対応力を生かし、大手水処理メーカー様が手掛けるような難解・大型の案件にも対応が可能で、これが弊社の一番の強みであると思っています。

技術の継承・向上のカギは 幅広い年齢層の 社員の協力・交流

一身近な暮らしだけでなく、製造現場の最初から最後まで、水処理が重要な役割を担っていることに驚きました。

近年では環境保全やSDGs実現への取り組みも一層重要と なっていますが、愛知県では自動車関連企業様をはじめ、非常に高い意識を持って高度な処理装置や監視体制を導入されているお客様が多くいらっしゃいます。難解な厳しいご要望もありますが、ニーズにお応えすることで弊社の技術力が一層向上し、技術・ノウハウを次に生かしていくことができ、大きなプラスとなっていると感じています。

一取引先のさまざまなニーズに応えるにも、優れた技術・知識は必要不可欠です。社員の教育・育成についてどのようなことに注力していらっしゃいますか。

若手社員の技術継承は、OJTが主体。先輩について現場に行き、実際に装置に携わって知識・技術を得ていくことが一番



▲幅広い年齢層の社員がともに働くことで、技術・ノウハウの継承や新技術へのチャレンジを可能に



◀営業・設計
ニーズに合わせたオーダーメイドの提案が不可欠



分析・実験室▶
処理テストを繰り返し最適な処理方法を模索

だと考えています。過去の実施案件や技術書類での教育ももちろん行いますが、すぐに理解できるというものではありませんし、お客様の要望・現場の状況などは、そのときどきで異なります。例えば過去に経験のない排水処理の案件では、客先より排水のサンプルを受け取り、各種処理方法を取り混ぜ何度も処理テストを繰り返し、イニシャル・ランニングコストの安価な、且つ確実に処理ができる処理方法を模索・ご提案する必要があります。中小企業では優秀な人材の確保はなかなか難しいものですが、弊社は70有余年の歴史を支える経験豊富なベテラン社員もおります。若手には都度ベテランの意見を聞くよう指導する一方で、新たな機械設備や技術というのは若い人の方が圧倒的に吸収が早いもの。ベテランと若手が協力し一緒に働くことで双方の理解が進み、技術継承や新技術へのチャレンジができると考えています。

技術継承を進めて地盤強化 社会に貢献することで 社員も幸せに

一幅広い年齢層の交流を大切になさっているのですね。最後に、今後の抱負についてお聞かせください。

新商品の開発に尽力することはもちろんなのですが、一朝一夕にできることではありません。そのためにも重要となってくるのが技術継承。どこの企業においても世代交代が進むなかで技術継承が課題となっていますが、地盤を固めるためにも、ベテランの持つ知識・技術をいかに早く・多く継承するかが重要です。私は「クレームは財産」だと思っていますので、クレームに対応して得たデータや知識も貴重な財産。技術と同じく皆で共有し、全社員の更なる技術力・ノウハウ向上に努めていきたいと思っています。

また、こうして事業が成り立っているのは、社員皆の頑張りのおかげですから、皆の生活が豊かになることも大切です。言うだけではなく結果として現すためには、まず私が動くこと。打ち合わせに行ったり現場へ出たり、私が動いていれば皆もただ座っているわけにはいかないだろうと(笑)、私の姿を見て一緒に働くことで、仕事へのモチベーションを上げてもらえるのではと思っています。難解な案件でもあらゆる手立てを模索し、よりよい提案をすること。「壽に依頼してよかった」とお客様に喜んでいただき、社会に貢献すること。これをもって、社員の皆が幸せになること。ベテラン・若手、いろいろな人が働いていますが、一人ひとりが100%の力を出せるよう働きかけていきたいと思っています。

Hekikai Report

■企業プロフィール

壽化工機株式会社

昭和26年に伊丹寛一氏によって設立された壽工業株式会社が前身。昭和30年に純水装置を完成させると、大手樹脂メーカーの下請企業として水処理装置の開発事業を展開する「水の壽工業」として成長。「排水」に着目した各種プラント開発の取り組みを始め、水処理部門を独立させ壽商事株式会社を設立、昭和48年には「壽化工機株式会社」に名称変更し、用排水処理部門を開設して総合水処理プラントメーカーとしての基盤を構築した。「水を通じた豊かで快適な生活環境づくり」をモットーに、水処理のパイオニアとして、長年蓄積されたノウハウと技術を生かし、地域社会と地球環境への貢献を続けている。



本 社	〒467-0012 愛知県名古屋市長瑞穂区豊岡通1-14
T E L	052-853-2361
F A X	052-853-3701
代 表 者	佐藤淳平
設 立	昭和42年
資 本 金	8,000万円
事 業 内 容	用水処理・排水処理・特殊処理などの水処理装置・プラントの設計、開発、製造、施工、販売ほか
U R L	https://www.kotobuki-grp.com/index.html

■企業沿革

昭和42年	壽工業株式会社の水処理部を継承独立、創業者・伊丹惣三により「壽商事株式会社」として設立
昭和46年	東京支店を中央区に移転
昭和47年	環境科学研究所を設立
昭和48年	「壽化工機株式会社」と社名変更
昭和53年	本社内に環境化学研究所を設置
昭和56年	福岡市に営業拠点を開設
平成6年	本社屋を名古屋市長瑞穂区豊岡通1-14に完成
平成9年	ナゴヤドーム雨水再利用設備完成
平成19年	代表取締役社長に伊丹勝司、代表取締役会長に伊丹惣三が就任
平成23年	資本移転により、壽ホールディングス株式会社の子会社となる
平成27年	代表取締役社長に佐藤淳平、代表取締役会長に伊丹勝司就任。



左から名古屋支店藤田支店長、伊丹代表取締役社長（壽ホールディングス株式会社）、佐藤代表取締役社長、名古屋支店細井係長



知立の歴史を発見！

ロマンあふれる

知立市には家康公側室・お万の方とゆかりの深い場所が存在しています。
また、古くから交通の要衝として栄え、
江戸時代には東海道39番目の宿場町「池鯉鮒宿」として
多くの旅人が行き交いました。
歴史的な観光スポットが多く存在している知立市を巡ってみませんか。



知立神社

池鯉鮒大明神と呼ばれ、社伝では景行天皇の頃の創建と伝えられています。境内にある「多宝塔」は、国の重要文化財であり、扁額、舞楽面、能面は県指定に、獅子頭等15点は市指定の文化財になっています。
例祭である「知立まつり」は毎年5月2日・3日に行われ、隔年で開催される本祭り(ほんまつり)で奉納される5台の山車は絢爛で目を奪うばかりです。このとき上演される「知立の山車文楽とからくり」は、国指定重要無形民俗文化財、ユネスコ無形文化遺産に登録されています。

家康公側室・お万の方と永見貞愛

お万の方は、知立神社の神主家・永見貞英の娘で、徳川家康の正室・築山殿に仕えたとされています。のちに双子の子を授けて家康の側室となり、双子のうちひとりの永見貞愛は、知立神社の神主となりました。

永見貞愛は体が弱く、お万の方の兄・永見貞親に引き取られました。天正19年(1591)に知立神社の神主職を継ぎ、その際に家康から冠・装束・信国銘の太刀・濃州長勝銘の鎧を授けられました。残念ながら貞愛は、慶長9年(1604)に31歳の若さで死去しますが、同年に書かれたと思われる母・お万の方からの消息の写が知立神社に残っており、そこには病身の貞愛を案じてお見舞いの品を送ったことが記されています。この消息の写は、毎年5月中旬から6月上旬に開催される「知立公園花しょうぶまつり」の期間にあわせ、知立神社にて公開されます。



お万消息写/知立神社 蔵



知立古城跡

かつて、刈谷城主水野忠重が「御屋形」を建て、織田信長を養育しました。

江戸時代初期には、「御殿」として将軍が上洛する際の休泊施設として使用され、水野勝成や松平忠房がその増築に関わりました。しかし、元禄期の地震で倒壊したと言い、その後は再建されませんでした。現在は児童遊園として整備されています。



無量壽寺

臨済宗妙心寺派に属しており、山号は「八橋山」で、寺号は「無量壽寺」です。敷地内には、八橋かきつばた園や八橋史跡保存館があるほか、八橋古碑などの史跡を見ることができます。
毎年4月下旬から5月中旬にかけて行われる「史跡八橋かきつばたまつり」では、尾形光琳作「燕子花図屏風(複製)」、「八橋時絵螺鈿硯箱(複製)」、「長線(再現品)」が展示されます。



かきつばた&八橋周辺史跡

八橋古碑

おぎゅうそらい あきもとぐうい
荻生徂徠に学んだ秋本嶋夷や、その門人
国分伯機らによって建てられました。碑文は難解なことで有名です。



来迎寺一里塚

一里塚は、慶長9年(1604)に江戸幕府の命により、1里(=約4km)毎の目安として設置されました。知立では塚の上に松が植えられており、全国的にも珍しく両塚が残っています。
一里塚の周辺には、来迎寺など史跡が残り、歴史の積み重ねを感じさせます。



宝篋印塔 (杜若姫供養塔)

業平を恋慕していた杜若姫は、業平の東下りの際、はるばる都よりその跡を追ひ八橋までたどり着きましたが、業平はすでに八橋を発ったあとでした。杜若姫は悲観の余り八橋の地で入水し、亡くなったと伝えられます。



八橋かきつばた園

八橋のかきつばたは、平安の貴族「在原業平」が、「からころも きつつなれにし つましあれば はるばるきぬるたびをしぞおもふ」と、句頭に「かきつばた」の5文字をいれて詠んだことにより、広く知られることとなりました。

方巖売茶翁

宝暦10年(1760)に福岡藩士の三男として生まれました。幼くして両親に先立たれて仏門に入り、京都の妙心寺での修行を経て僧となりました。京都の相国寺の大典禅師に師事し、大典禅師を通じて初代売茶翁高遊外の生き方や煎茶道について学び、茶を売りながら諸国を巡歴しました。文化2年(1805)に八橋を訪れ、当時荒れ果てていた在原寺を再興し、その後無量壽寺に入寺しました。



売茶翁肖像/無量壽寺 蔵



在原寺(ざいげんじ)

在原業平

伊勢物語の主人公といわれている在原業平が、東下りの途中、八橋にさしかかり、かきつばたが一面に咲き乱れているのを見て【からころも きつつなれにし つましあれば はるばるきぬるたびをしぞおもふ】と詠んだ歌は、句頭に「かきつばた」の5文字を入れていることで有名です。

歴史的な観光名所 東海道も歩こう！

知立は、かつて東海道の品川宿から数えて39番目の宿場町「池鯉鮒宿」として多くの旅人が行き交いました。かつての街道近隣を中心に、歴史や文化などを楽しむことができます。

その魅力が認められ、宿場のあった地域を含む散歩みちの「東海道宿場散歩みち」は、新日本歩く道紀行100選「文化の道」のひとつとして選定されています。

東海道宿場散歩みち

「東海道宿場散歩みち」を散策して、知立の歴史や文化を感じてみてください。



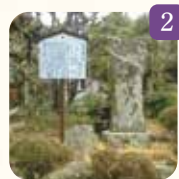
■コース詳細

無量壽寺(スタート)	▶	八橋かきつばたまつり	▶	明治用水緑道遊歩道	▶
知立松並木	▶	池鯉鮒宿本陣跡	▶	山車蔵	▶
知立古城跡	▶	知立神社(ゴール)			

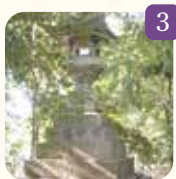
..... 東海道宿場散歩みち
—— 旧東海道



知立神社 多宝塔
三河国二宮として知られる名社です。また、江戸時代には焼除けの神として祀られたほか、雨乞い・安産の神としても知られました。境内にある国指定重要文化財の多宝塔も趣深いです。



芭蕉句碑(知立神社内)
石碑に刻まれた「不断たつ池鯉鮒の宿の木綿市」は、芭蕉が詠んだ句です。かつて池鯉鮒宿で木綿市が開かれ、賑わっていたことを表しています。



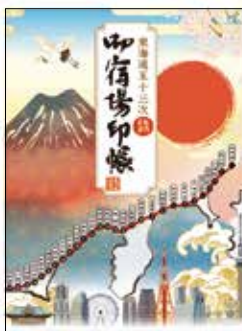
常夜灯(知立神社内)
かつて東海道の街道筋にあった常夜灯です。現在は知立神社の大鳥居付近にあり、旅人たちを照らした往時を偲ばせます。



知立古城跡
刈谷城主水野忠重が御屋形を建て織田信長を饗迎しましたが、のちの江戸時代元禄期の地震で倒壊したといわれています。

知立市観光交流センターで御宿場印帳と御宿場印を販売中！

東京「日本橋」から京都「三条大橋」までの2つの起点と53の宿場町で、「御宿場印帳」と「御宿場印」が販売されています。印を集めながら、宿場町やその周辺を楽しく旅してみませんか。



1冊3,000円(税込)

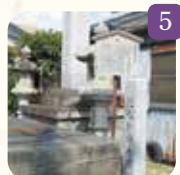


1枚300円(税込)

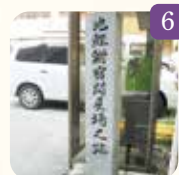
知立市観光交流センター

知立市中町中128 TEL.0566-55-6302

開館時間 午前9時00分～午後5時00分
休館日 毎週火・水曜日(祝日は開館)、年末年始



池鯉鮒宿本陣跡
本陣とは、大名や公家が休泊する施設です。池鯉鮒宿にも本陣が置かれていましたが、明治8年に取り壊されました。現在はかつて位置した場所に石碑が建てられています。



池鯉鮒宿問屋場跡
問屋場は、宿駅の業務全般を取り仕切るところで、主に公用旅行者のための馬と人足を用意し、次の宿まで運搬する人馬の継立と、幕府の公用文書を運ぶ通信業務を担っていました。池鯉鮒宿の問屋場は昭和46年に取り壊され、現在は跡地を示す碑が建っています。



馬市の碑
馬市とは馬を売買するための市です。知立の馬市は、4～5月に現在の知立松並木周辺で開かれていたとされ、江戸時代を中心に繁栄しました。その様子が歌川広重の浮世絵に描かれたことでも知られています。



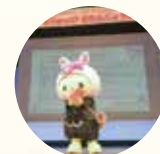
知立松並木
知立松並木は、旧東海道沿いにあり約500mに渡ります。並木は旅人にとって夏は日差しを遮り、冬は防風防寒の役目を果たしたと考えられ、街道の象徴でした。その姿が往時を思わせます。

イベント年間カレンダー

名 称	時 期	場 所
弘法さんの縁日	毎月/旧暦21日	知立弘法山遍照院
寺の市	毎月/第3日曜日	知立弘法山遍照院
史跡八橋かきつばたまつり	4月下旬～5月中旬	八橋かきつばた園
知立まつり	5月2日・3日	知立神社
知立公園花しょうぶまつり	5月中旬～6月中旬	知立公園花しょうぶ園
知立よいとこ祭り	8月下旬	市役所周辺
秋葉まつり	9月中旬	知立神社
知立弘法山を写す会	11月下旬	知立弘法山遍照院
ちりゅっぴお誕生日会	11月下旬	文化会館
知立ドリームイルミネーション	12月上旬～下旬	新地公園



知立弘法山を写す会



ちりゅっぴお誕生日会

知立まつり



初夏を飾る一大風物詩で、1年おきに本祭りと間祭りが行われます。本祭りで奉納される「知立の山車文樂とからくり」は、国指定重要無形民俗文化財、ユネスコ無形文化遺産に登録されています。



知立公園花しょうぶまつり

知立公園の花しょうぶは明治神宮から下賜されたもので、明治天皇ならびに昭憲皇太后御遺愛の名品60種が植えられています。



史跡八橋かきつばたまつり

史跡八橋かきつばたまつりは、約70年前から続く祭りです。祭り期間中はいつでも花を觀賞することができます。

知立よいとこ祭り

知立の夏の風物詩である「知立よいとこ祭り」。市民総出を合言葉に盆踊りや花火大会などを楽しめます。



寺の市

弘法発展会が弘法山遍照院にて行うマルシェです。毎月第3日曜日の午前9時から午後1時まで開催されます。



秋葉まつり

若衆が威勢よく町内を練り歩き、夕方には知立神社に玉箱や手筒花火を奉納します。



知立ドリームイルミネーション

知立の冬の風物詩である「知立ドリームイルミネーション」。光に彩られた会場は、別世界のような空間です。



※本記事の編集および図・写真の提供につきましては、知立市にご協力いただきました。

お役立ちコラム

知っておきたい税情報

電子帳簿保存法の改正 (電子取引データの電子保存への対応)



法人税法、所得税法において保存が義務付けられている「帳簿」や「書類」を、紙による保存ではなく電子データで保存することを定めた法律を電子帳簿保存法といい、次の三つの制度に区分されます。

保存区分	対象者	制度の概要
1 電子帳簿等の保存	希望する事業者 (任意)	自社(ご自身)がパソコン等で作成した帳簿や書類を一定の要件に従って、電子データで保存し、紙での保存を不要とする制度。
2 スキャナー保存	希望する事業者 (任意)	取引先から紙で受け取った領収書や請求書等をスキャンして電子保存することにより紙での保存を不要とする制度。
3 電子取引データの保存	すべての事業者 (義務)	電子データでやりとりした領収書や請求書等を一定の保存要件に従って、電子データのまま保存する制度。

このうち「1電子帳簿等の保存」と「2スキャナー保存」については、事業者の選択(任意)により紙で保存するかデータで保存するかを決められるため、制度への対応が難しい中小事業者の場合、すぐに対応する必要はなく、いままでどおりでも構いません。

それに対して、「3電子取引データの保存」については、令和5年12月末までは、宥恕(ゆうじょ)措置により、紙での保存も容認されていますが、令和6年1月1日以降は、すべての事業者を対象に、電子データは電子データのまま保存することが必要になります。

このため、どのように対応すべきかお困りの事業者の方も多いと思われますが、中小事業者の様々な事業を考慮して、新たな猶予措置や保存要件の見直しが講じられていますので、今回はこの点を中心に解説します。

山本康裕税理士事務所 山本康裕

■ 電子取引データの保存への対応

令和6年1月1日以降、取引先と電子メール等で送受信した請求書や領収書、あるいはインターネットで購入した商品のサイトからダウンロードした領収書等は、原則として、**改ざん防止措置**^{※1}や**検索機能の確保**^{※2}といった保存要件を満たした形で電子保存することが必要になります。

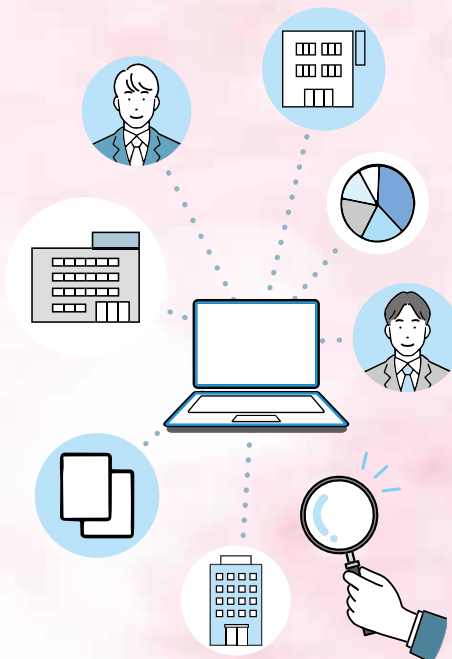
※1 **改ざん防止措置** データが改ざんされていないという真実性を確保する観点から求められる要件

(例:タイムスタンプの付与、訂正削除履歴の残るシステム導入、訂正削除防止の事務処理規定の作成等)

※2 **検索機能の確保** 「日付・金額・取引先」に基づいて検索できるようにする要件

(例:検索システムの導入、索引簿の作成)

しかしながら、多くの中小事業者において、電子取引データの保存要件についてのシステム対応が進んでいないため、令和5年度税制改正において、新たな猶予措置や保存要件の緩和措置が整備されました。



電子データの保存要件についての新たな猶予措置や緩和措置は次のとおりです。

1 新たな猶予措置

電子取引データを電子保存するためのシステム対応が間に合わなかったことについて相当の理由がある事業者については、「出力した書面を保存」し、「税務調査等において求められた際にデータで渡せる」状態にしてあれば保存要件を不要として電子取引データの保存が可能となりました。(この場合の「相当の理由」については、事業者の実情に応じて幅広く認められることとなる見込みです。)

これにより、電子取引データそのものの保存は必要ですが、改ざん防止措置や検索機能の確保といった面倒な保存要件に沿った対応は不要となるため、多くの中小事業者において、電子取引データを単に保存し、調査等があった場合にダウンロードの求めに応じればよいので、実質的にこれまでの紙での保存方法のままでも特に支障はないものと思われます。

2 保存要件の緩和措置

電子取引データの保存に係るもう一つの改正事項として、「検索機能の確保の要件」の見直しがあります。これは、新たな猶予措置の適用までは必要なく、保存要件に従って保存する場合において、出力した書面(領収書、請求書)を整理した状態で提出できるようにしている事業者については、「検索機能の確保の要件」を不要とするものです。

また、2年前(2期前)の売上高が5千万円以下の事業者についても、中小事業者の事務負担に配慮する観点から、「検索機能確保の要件」が不要になりました。

これらをまとめると次のとおりとなります。

保存要件	I 改ざん防止措置 ^{※1}	II 検索機能の確保 ^{※2}	対象事業者
原則	必要	必要	すべての事業者(下記の事業者を除く)
猶予措置	不要	不要	電子取引データを保存要件に従って電子保存するためのシステム対応が間に合わないことについて、所轄税務署長が相当の理由(注)があると認める場合(事前申請不要)で、かつ、税務調査において電子取引データの「ダウンロードの求め」及び出力した書面の提出の求めに応じることができるようにしている事業者 (注)「相当の理由」については、事業者の実情に応じて幅広く認められることとなる見込みです。
緩和措置	必要	不要	・出力した書面を取引年月日、取引先等ごとに整理された状態で提出できるようにしている事業者 ・基準期間(2課税年度前)の売上高が5千万円以下の事業者

上記のとおり、電子取引データの保存は、令和5年度税制改正により、その保存要件が大幅に見直されましたので、これらを参考に、令和6年1月1日以後に行う電子取引データの保存方法を検討していただきたいと思います。

“梱包材”だけにとらわれないダンボールの可能性

会社概要

当社は、ダンボールを中心とした梱包材の企画・製造・販売を行っている創業100周年を迎えた老舗企業。これまでの常識では実現が難しいと思われたパッケージや緩衝材にも果敢に挑戦しており、「老舗だが気持ちはベンチャー」とお客様の課題解決に向け、アイデアやデザインを生み出している。

例えば、輸出用の梱包材などは、積載効率や梱包資材の削減だけでなく、数ヶ月の海上輸送の湿度や衝撃に耐えられる耐圧強度・耐湿性、フォークリフトでの運搬への対応等、国内輸送以上のレベルが求められる。そういったお客様が抱える難易度の高いお悩みに応え、設計力・企画提案力を磨いていった。



代表取締役 佐野 博政 氏



アイデアやデザインをとことん追求し、幅広い業界に「ダンボールでもできること」を提供していく。

チャレンジの経緯

前職である大手建設会社に勤めていた当時、尼崎で阪神・淡路大震災を経験し、被災した中小企業を目の当たりにした。その時、父が経営する当社のことをふと思い出し、一念発起し入社を決めた。その後、自身の経験から、ダンボールで防災用品を作れないか、と考え、重さ120kgまで耐えられる構造と座り心地も追及したダンボール製の簡易トイレや、避難所でのプライバシーを守り防音効果も兼ね備えたシェルターなどを開発し、ダンボール素材の可能性を広げてきた。

家具デザインにも興味があった代表は、「ダンボールでソファの構造部分を作れないか」との相談から、革新的な「すこし未来のソファ」の開発に着手することとなった。



おしりにやさしい簡易トイレ

木製フレームをダンボールに代えたSwayleyソファ

三重県のウレタンメーカーと開発したソファで、従来、ソファの構造体に使われている合板や木材に替わり、新しく研究開発された特殊な強化ダンボール素材を使用し、木材に劣らない耐久性を維持しながら軽量化を実現した。また、軽量化されたことで、高密度なウレタン素材を使うことができ、一般のソファ以上の上質な座り心地を生み出すことができた。ダンボールはSDGsの観点からも高く評価されており、原料が再生紙であること、また再利用可能な資材であることで環境面にも配慮されている。

日本の家具製造は世界的に見て技術力が高い。今後も、これまで培ってきた設計・製造のノウハウを活かし、他社と協業しながら、異素材をダンボールで代替する新たな商品開発を行い、アジアへの輸出も目指していきたいと意気込む。



セパレートタイプで自由に組み合わせが楽しめる。女性が1人でも持ち上げられる重量とサイズ感で掃除も模様替えも簡単。



梅花堂紙業株式会社

事業内容：梱包材の企画、製造、販売
従業員：26名
住所：名古屋市北区城東町3-73
TEL：052-915-0130
URL：<https://www.baikado-shigyo.co.jp/>



ホームページはこちら

支店担当者より

老舗企業だからこそできる、積み重ねてきた技術力を活かした新たな試み。湧き出るアイデアとバイタリティ溢れる佐野社長がとっても魅力的な会社です。

碧海信用金庫は、地域金融機関としてSDGsの取り組みを通じて持続可能な地域社会の実現に貢献します。

「あいち森と緑づくり基金」に寄付

「笑顔の定期2022 冬」としてお客さまからお預け入れをいただいた預金残高の一定率に相当する金額を「あいち森と緑づくり基金」へ寄付し、4月24日に感謝状をいただきました。



「WFP国連世界食糧計画」に寄付

当金庫は、4月27日に定期積金「yell(エール)2022」の総満期契約額の一定率に相当する金額を、国連WFP協会を通して「WFP国連世界食糧計画」に寄付しました。

今年度も定期積金「yell(エール)2023」の取り扱いを始めており、引き続きWFP国連世界食糧計画に寄付してまいります。



安城高等学校でSDGsに関する授業を実施

愛知県立安城高等学校では、総合的な探究の時間において「SDGs探究」の授業を実施しています。5月8日には当金庫の職員が講師として出向き、「はたらきがい」をテーマにお話をしました。



「中部まるごとスタートアップまつり」を共催

スタートアップ企業支援の一環として、5月30日に当金庫と三菱UFJ銀行、名古屋銀行の3行庫が共同で実施する初のイベント「中部まるごとスタートアップまつり」を開催しました。会場参加とWeb参加のハイブリット形式にて行い、幅広い企業に参加しました。



「岡崎市SDGs公民連携プラットフォーム」に入会

当金庫は6月27日に、多様化する社会課題や市民ニーズに対応するために岡崎市が構築した「岡崎市SDGs公民連携プラットフォーム」に入会しました。岡崎市とのパートナーシップをさらに強化し、さまざまな施策に取り組んでまいります。



SDGs寄贈型私募債「パートナーブリッジ」の寄贈品を贈呈

私募債を発行するお客さまから受け取る手数料の一部で寄贈品を購入し、お客さまが指定された教育機関や医療機関、公共的な活動を行う法人や団体等に寄贈を行っています。

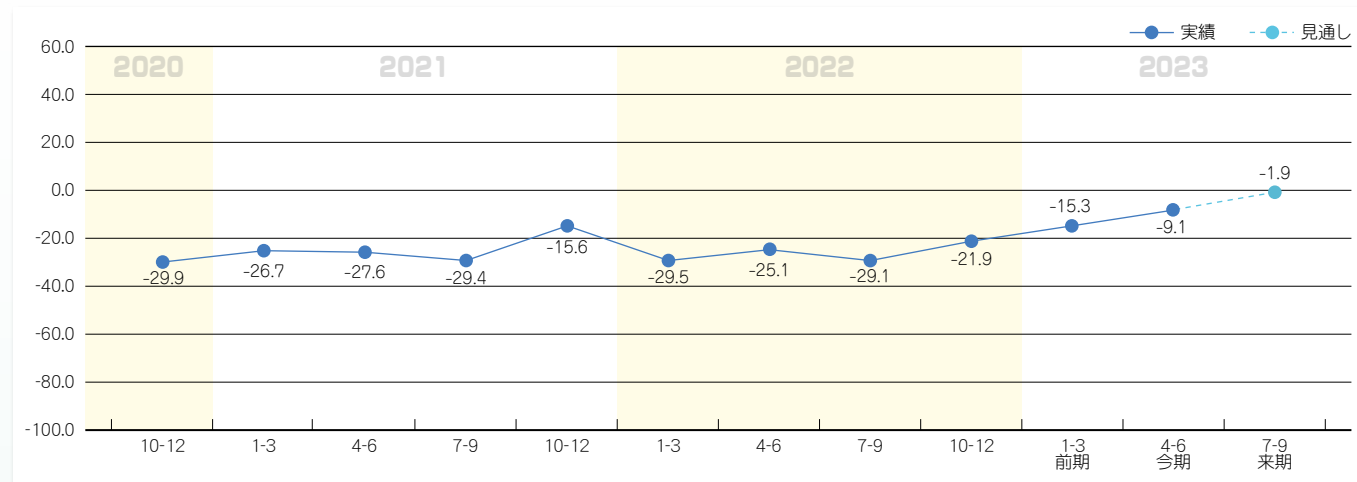


安城市立安城北中学校に護身具、刺股(さすまた)を贈呈(4月20日)

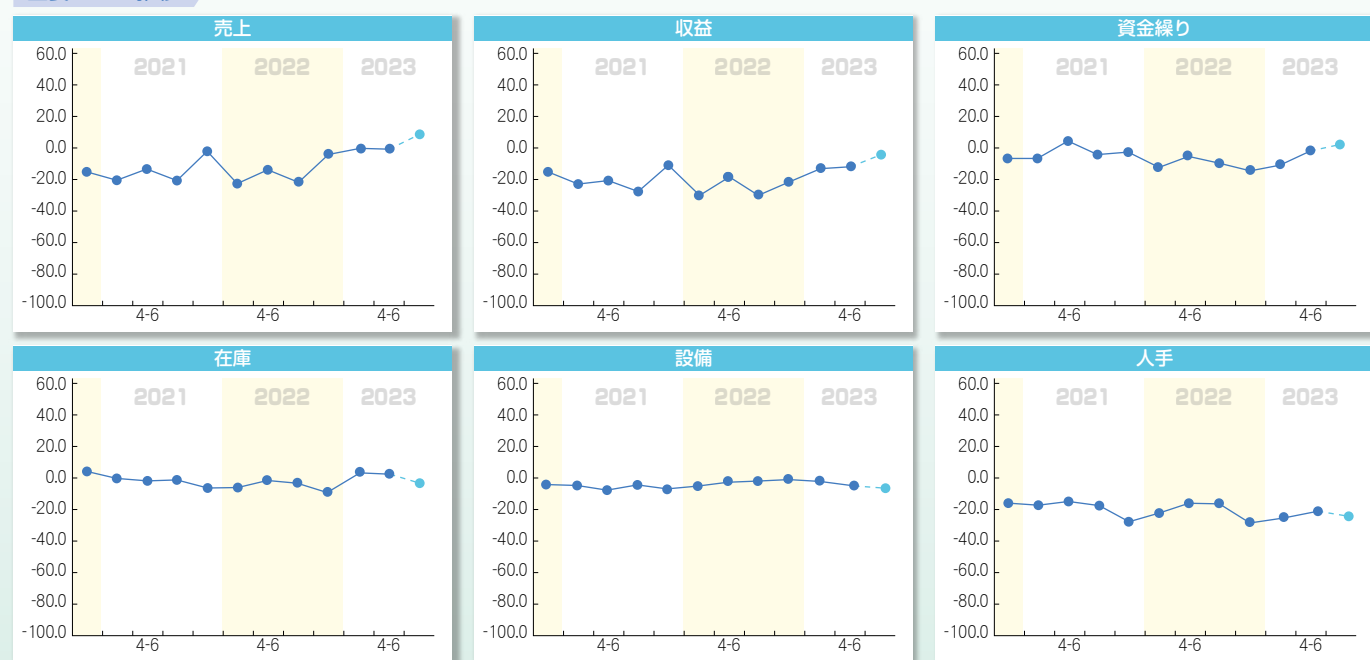
回答数319社

今期の業況D・Iは、前期比6.2ポイント上昇の▲9.1と三期連続で改善。業種別では、製造業、小売業、サービス業が改善の一方で、卸売業、建設・不動産業が悪化。来期の予想業況D・Iは、7.2ポイント上昇の▲1.9と改善が続く見通し。製造業、建設・不動産業は大幅な改善を見込むが、卸売業は悪化を見込む。

前期実績
今期実績
来期見通し



主要D・Iの推移 (注)在庫／設備／人手はプラスになるほど過剰、マイナスになるほど不足。



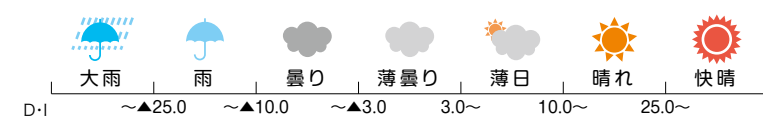
へきしん取引先景況調査とは

本調査は、地域および業種の景気実態および景気予測（景況）を把握するため、四半期ごとに当金庫の取引先企業様にアンケート調査を実施し、回答をいただいたものです。

調査概要

実施時期 2023年6月1日～7日
対象企業 319社
対象地域 西三河および尾張南部を中心とした当金庫の営業エリア

天気図の見方



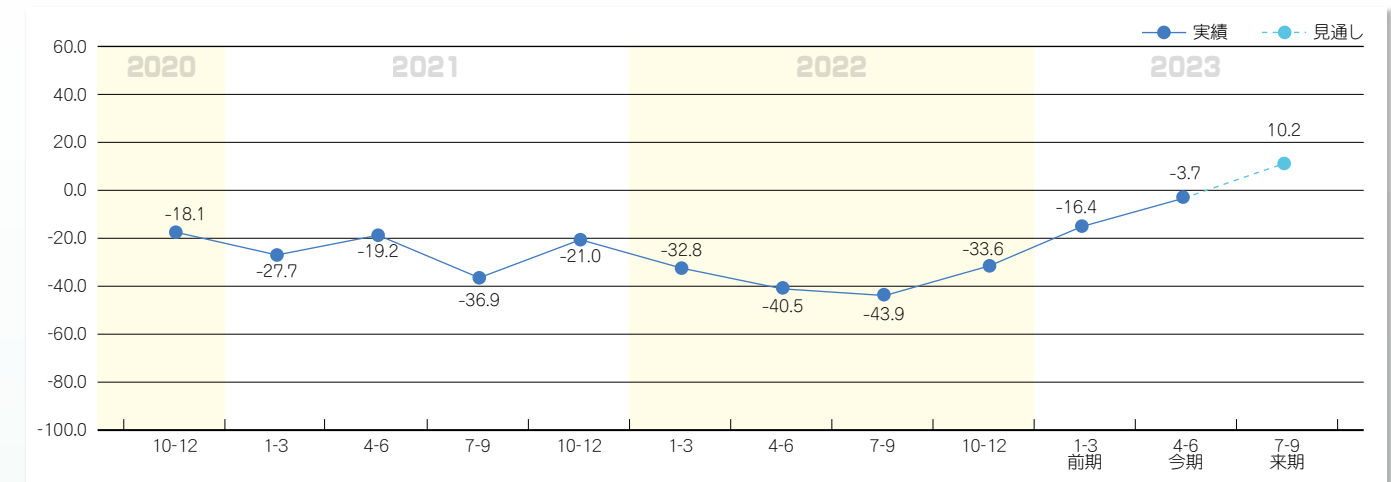
D・I(ディフュージョン・インデックス)とは…業況(業界の景気)等を判断するための指数であり、〈良いまたはやや良いと答えた割合〉-〈悪いまたはやや悪いと答えた割合〉で求められます。

 製造業

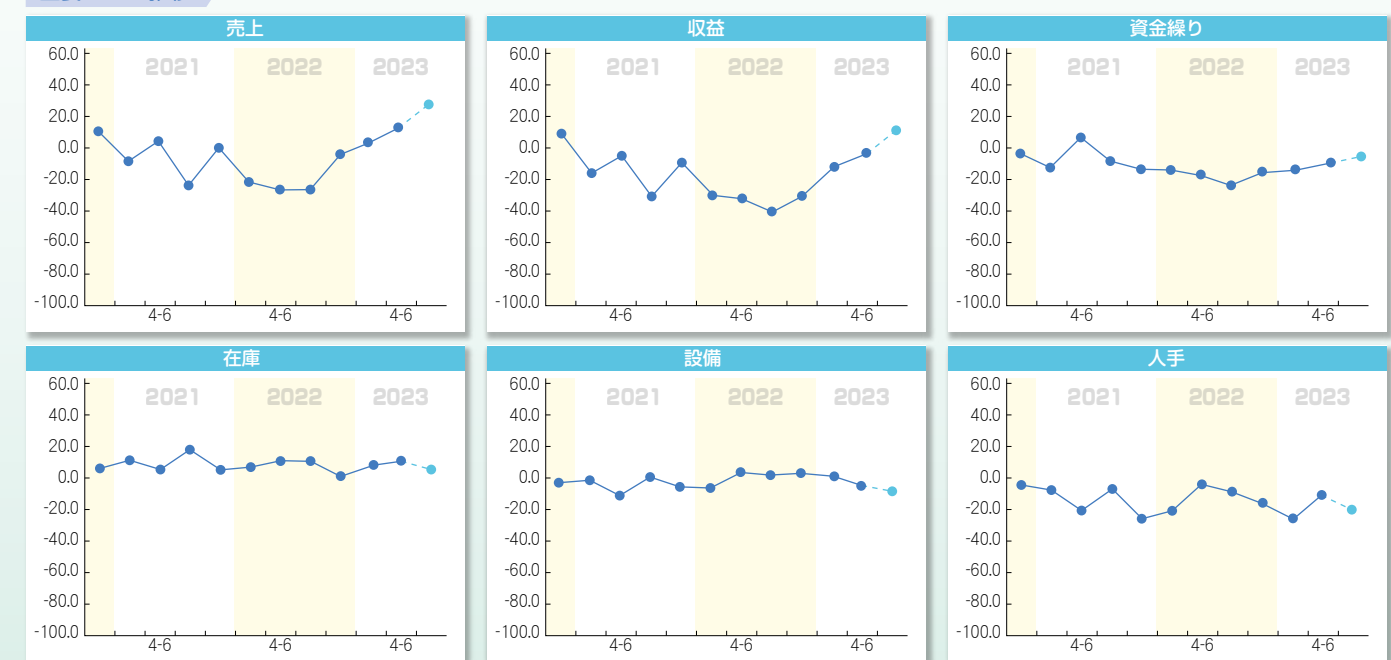
回答数108社

今期の業況D-Iは、前期比12.7ポイント上昇の▲3.7と三期連続で改善した。生産調整の影響が緩和に向かい受注が回復したとの声が自動車産業を中心に多く聞かれた。来期の予想業況D-Iは13.9ポイント上昇の10.2と大幅改善の見通し。受注安定による売上増加に加えて、生産体制効率化などによる収益増加を見込む。

前期実績
今期実績
来期見通し



主要D・Iの推移 (注)在庫／設備／人手はプラスになるほど過剰、マイナスになるほど不足。



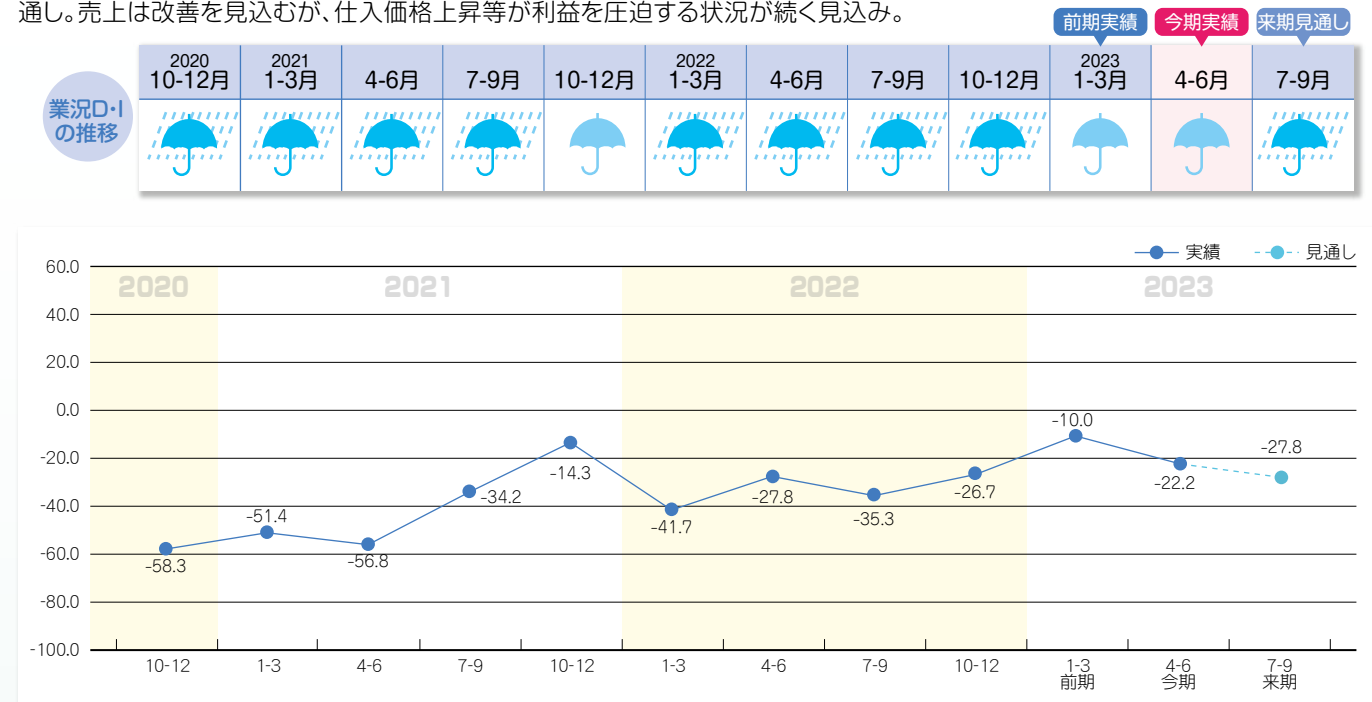
- トヨタ自動車の挽回生産により、業況は回復傾向。(自動車部品製造)
- 半導体供給不足問題が解決に向かい、受注が増加。外国人実習生の受け入れも順調。リサイクル材の活用等により材料費上昇の影響は少ないが、光熱費負担が大きい。(自動車部品製造)
- 内製化により収益増強体制を整えている。受注状況も安定しており、コロナ禍の影響を脱している。(印刷)
- コロナ禍、原材料価格高騰など外部環境による悪影響が大きく節減した項目もある一方で、賃上げなど検討課題も山積しており、経営方針の決定が非常に難しくなっている。(家具製造)

卸売業

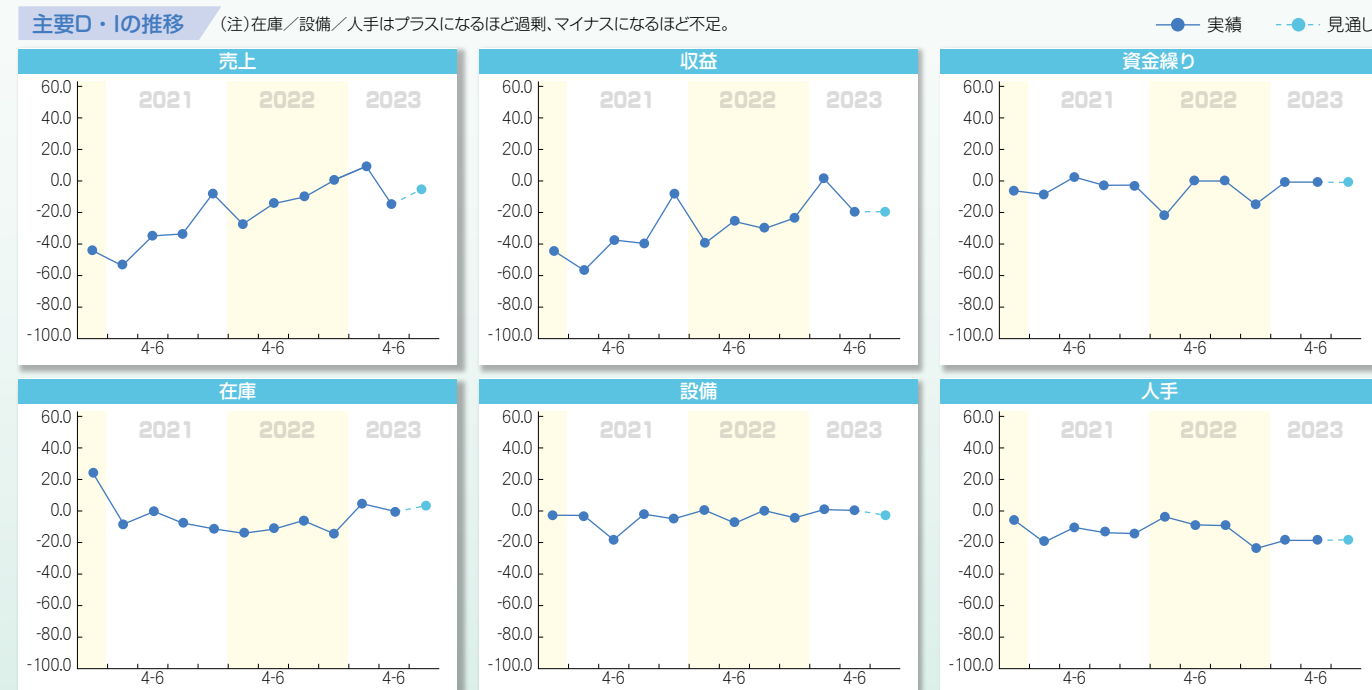
回答数36社

今期の業況D・Iは、前期比12.2ポイント低下の▲22.2と悪化。仕入価格やエネルギーコスト上昇に伴う販売価格への転嫁により顧客数が減少し、売上や収益を圧迫したとの声が聞かれた。来期の予想業況D・Iは5.6ポイント低下の▲27.8と、さらに悪化の見通し。売上は改善を見込むが、仕入価格上昇等が利益を圧迫する状況が続く見込み。

前期実績
今期実績
来期見通し



主要D・Iの推移 (注)在庫／設備／人手はプラスになるほど過剰、マイナスになるほど不足。



- 依然として仕入価格等が値上がりしており、利益減少が続いている。(食品卸売)
- 電気代等のエネルギーコストや運送費上昇による物流費高騰が利益を圧迫している状況。今後は諸経費増加分を価格改定にてカバーしたい。(石油卸売)
- 価格転嫁により顧客数は減少傾向であるが、採算を重視している。(繊維品卸売)
- 売上は減少傾向。価格転嫁はほぼ実施できているが、賃上げは未だできていない。(土木資材卸売)

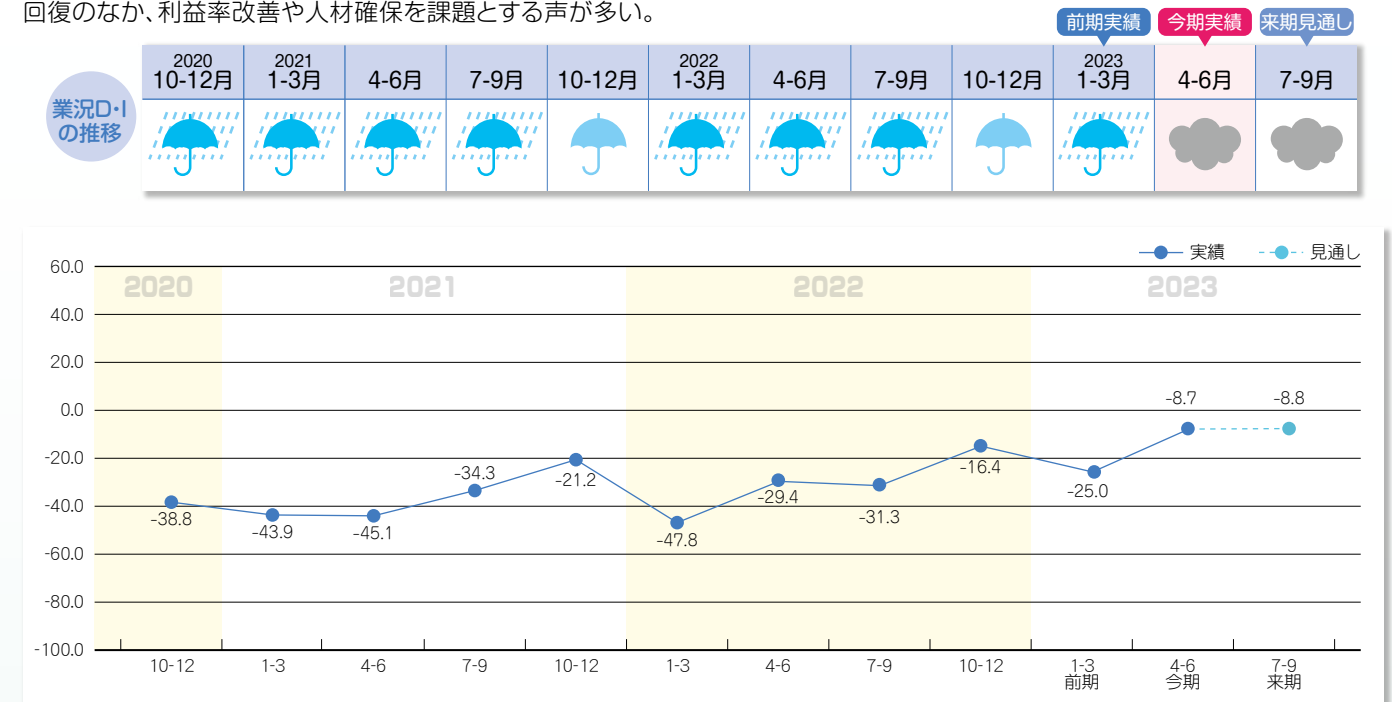


小売業

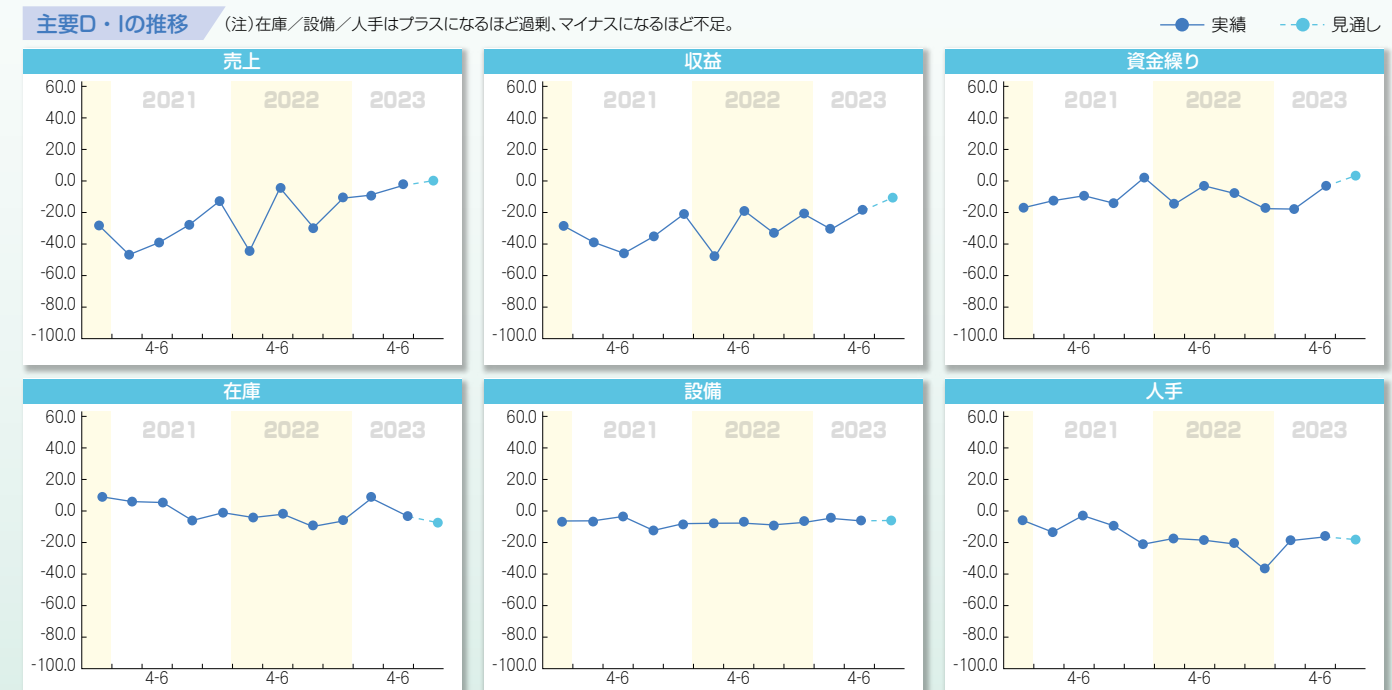
回答数69社

今期の業況D・Iは、前期比16.3ポイント上昇の▲8.7と、大幅に改善。物価高騰などによる影響を価格転嫁や経費削減などにより抑え、円安やコロナ禍からの回復基調を捉え売上や収益増強に繋げていることがうかがえる。来期の予想業況D・Iは▲8.8。売上回復のなか、利益率改善や人材確保を課題とする声が多い。

前期実績
今期実績
来期予測



主要D・Iの推移 (注)在庫／設備／人手はプラスになるほど過剰、マイナスになるほど不足。



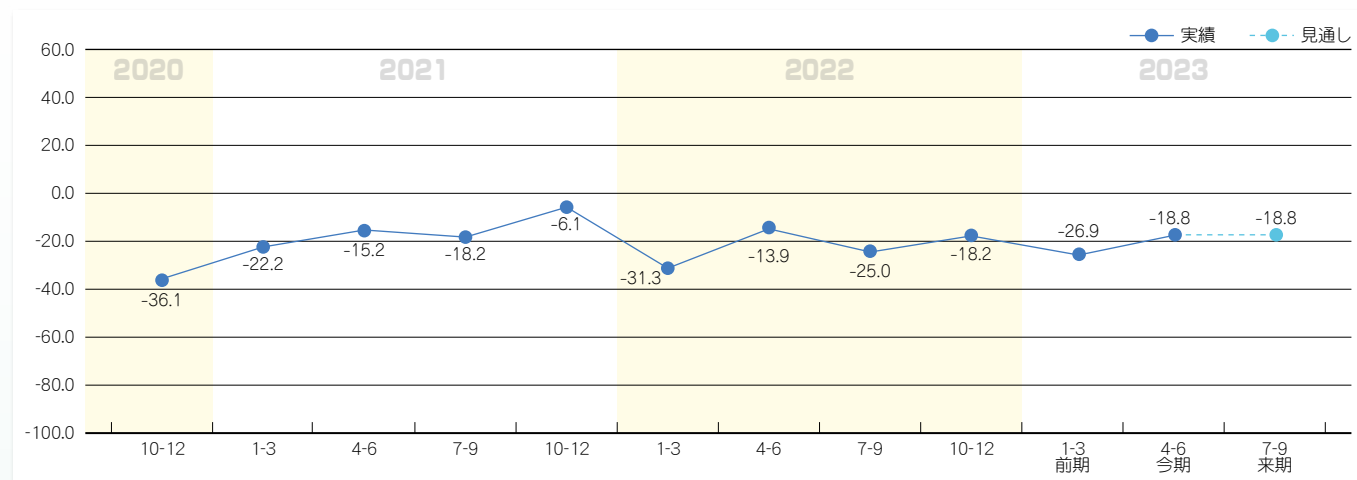
- コロナの影響は少しずつ回復しているが、物価高騰などが原因で利益低下。価格転嫁はほとんど完了している。利益率改善が今後の課題。(食品販売)
- 夏に向けてエアコン設置業務を増加。早めに在庫確保しており価格が高騰する前に対策できた。(家電製品販売)
- 円安を追い風に売上増加。利益率を改善し従業員に分配。今後は新たな人材確保が課題。(中古車販売)
- 物価上昇により売上単価はわずかに上昇したが、エネルギー価格も上がっているため収益は減少。廃棄ロスに注力しつつ、経費削減に努めている。(コンビニエンスストア)



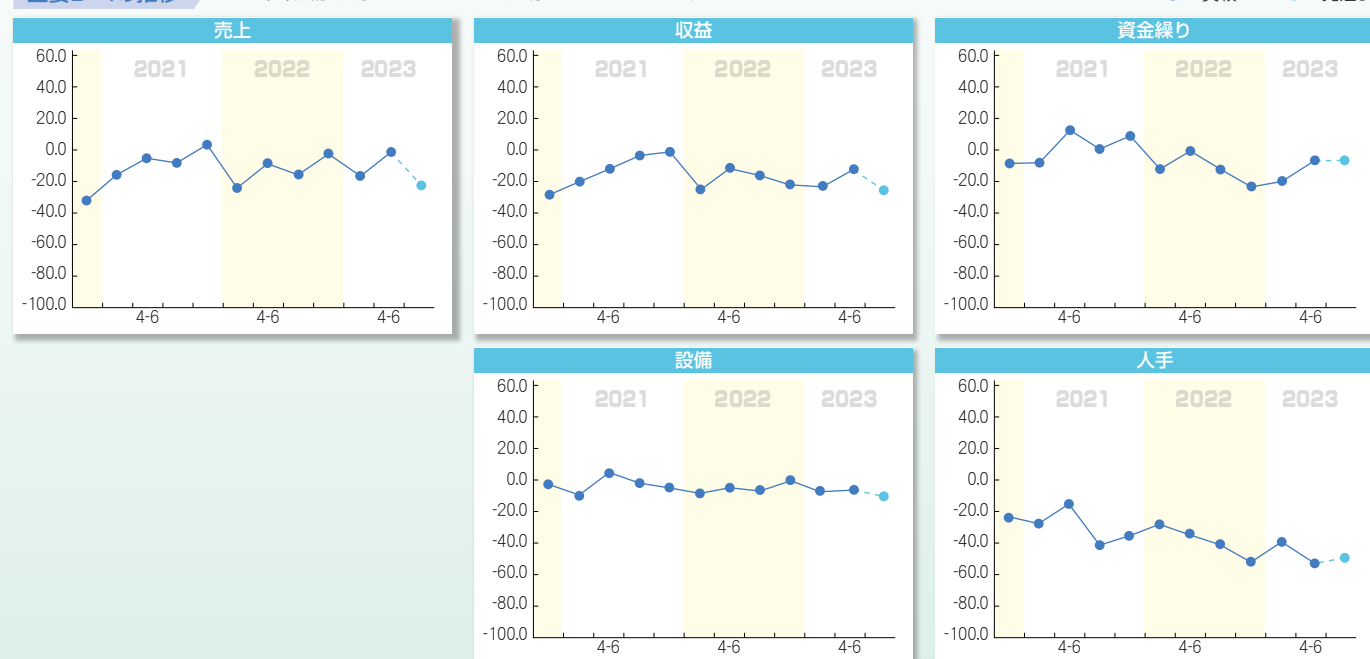
 サービス業

回答数32社

今期の業況D-Iは、前期比8.1ポイント上昇の▲18.8と改善。物価高に伴う価格転嫁や生産性向上に向けた設備投資を行うなど売上や収益増強に取り組んでいるが、コロナ禍からの客足の回復や価格転嫁が十分ではないことがうかがえる。来期の予想業況D-Iは▲18.8と横ばいの見通し。先行きに対し厳しい見方をする企業が多いなか、特に他の業種と比べて人手不足を課題とする声が多い。



主要D・Iの推移 (注)設備／人手はプラスになるほど過剰、マイナスになるほど不足。



- 受注は確保できているが、人材(特に作業員)不足が課題。早急に採用したい。(自動車整備業)
- コロナ禍から客足は戻りつつあるが、まだ不十分。客足減少が懸念されるため、十分に物価高に伴う価格転嫁ができていない。従業員の育成に力を入れ、受け入れキャパを増やしたい。(理美容室)
- 燃料費、原材料費高騰の影響あり。夏頃、新設備導入を計画、新サービス提供による客単価上昇を期待。販管費の見直しによりコストを削減し、従業員の賃上げを行いたい。(クリーニング店)

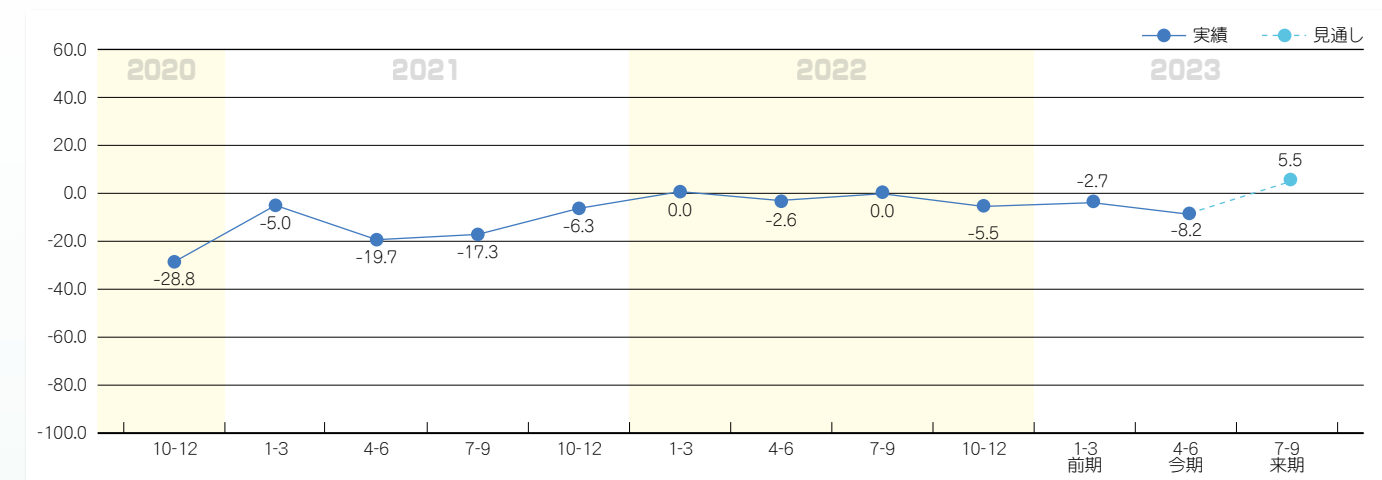
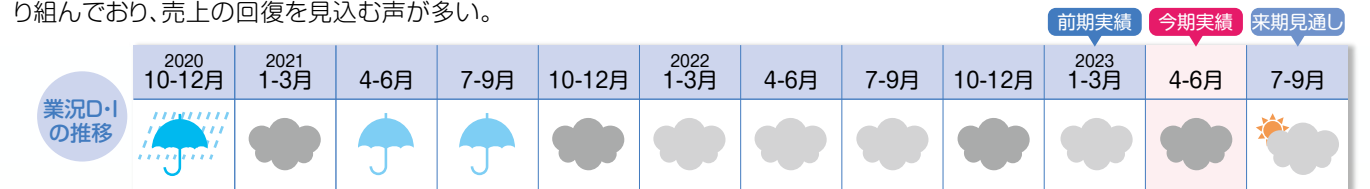


建設・不動産

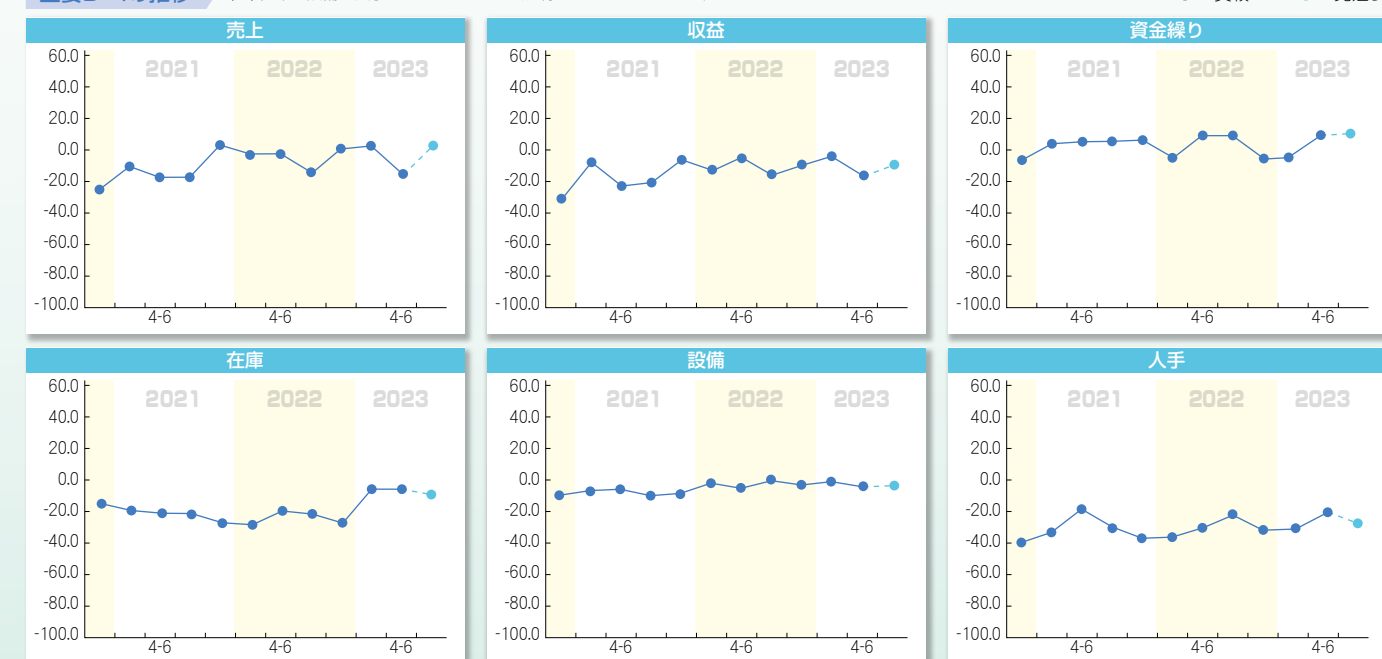
回答数73社

今期の業況D・Iは、前期比5.5ポイント低下の▲8.2と悪化。資材価格や地価上昇の影響により、売上が減少し収益を圧迫していることがうかがえる。来期の予想業況D・Iは13.7ポイント上昇の5.5と改善の見通し。新規事業や新規顧客開拓、販路拡大などに取り組んでおり、売上の回復を見込む声が多い。

前期実績
今期実績
来期見通し



主要D・Iの推移 (注)在庫／設備／人手はプラスになるほど過剰、マイナスになるほど不足。



- 原材料費高騰の影響あり。ある程度は価格転嫁できているが、利益は減少。また、人材の高齢化が課題。(建設業)
- 新事業をGW明けに始動する。本業とのシナジー効果に期待。(住宅建築)
- 新規取引先獲得に向けた営業活動に取り組んでいる。(設備工事業)
- さまざまなネットワーク、広告ツールを通じて販路拡大を図っている。(不動産賃貸)



地域の“今”と“これから”
変わりゆく知立市 ～知立駅周辺整備事業～



左から知立市&ちりゅっぴPR部長北川綾巴さん、知立市マスコットキャラクターちりゅっぴ、知立市長、知立駅長(2023年3月26日)

<写真提供:知立市>

知立市は、古くから交通の要衝として栄え、鎌倉時代に整備された鎌倉街道や、江戸時代には東海道39番目の宿場町である池鯉鮒宿として繁栄しました。

現在の知立駅は、名鉄名古屋本線と三河線の接続駅で利用者が多く、市の代表駅・玄関口となっています。一方、主要な踏切においては慢性的な交通渋滞が発生し、市街地が分断されていました。そこで、これらの問題を解決するため、2028年度を完成予定とした駅周辺の連続立体交差事業が進捗しており、あわせて知立駅周辺整備事業にも取り組んでおり、魅力あるまちづくりを目指しています。

<表紙の絵> 東海道五拾三次(保永堂版)池鯉鮒 首夏馬市

歌川広重が、首夏すなわち夏の初めの馬市の様子を描いた作品です。現在の知立市にある池鯉鮒宿の周辺では毎年馬市が開かれ、近郷近在だけでなく、甲斐国や信濃国辺りからも大勢の馬の関係者が集まり、賑わいを見せたそうです。



愛知県安城市御幸本町15番1号
(vol.59 2023年7月発行)